

2023年3月期第2四半期決算 IR説明会資料

2022年11月
株式会社 極洋

(東証プライム市場 証券コード 1301)

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

I .2023年3月期第2四半期

P2～13

II .2023年3月期下半期の施策・業績予想

P14～18

III.株主還元

P19～20

ご参考資料

P21～28

I .2023年3月期第2四半期

連結損益計算書

(単位：百万円)

	第2四半期連結損益累計期間		前年同期比		2023年 3月期 通期予想	通期 予想比 (達成率)
	2022年 3月期	2023年 3月期	増減額	増減比率		
売上高	120,880	133,619	12,739	10.5%	275,000	48.6%
営業利益	3,222	5,375	2,152	66.8%	7,000	76.8%
経常利益	3,428	5,805	2,376	69.3%	7,000	82.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,438	4,208	1,769	72.6%	4,900	85.9%

➤ 前年同期比

- ・ 営業利益、経常利益、純利益とも約7割の増益。

➤ 通期予想比（2022年5月13日公表）

- ・ 上半期で営業利益、経常利益とも約8割達成、当期純利益は約9割達成。
- ・ 相場上昇の中でも、外食産業回復などにより需要が堅調だった水産商事事業および鯉鮪事業が牽引。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021年 9月末	2022年 9月末	前年同期比		2021年 9月末	2022年 9月末	前年同期比
資産の部				負債の部			
流動資産	95,418	119,871	24,453	流動負債	48,299	73,264	24,965
受取手形 及び売掛金	31,972	36,889	4,916	内、支払手形及び 買掛金	12,422	10,998	△1,423
商品及び製品	40,972	57,883	16,911	内、短期借入金 (含むCP)	23,448	47,617	24,169
仕掛品	3,665	3,615	△50	固定負債	37,544	32,086	△5,458
原材料及び貯蔵品	6,792	6,738	△53	内、長期借入金	32,929	27,730	△5,199
その他	12,015	14,744	2,728	負債合計	85,843	105,350	19,507
固定資産	32,010	30,961	△1,049	純資産の部			
有形固定資産	18,025	19,705	1,680	株主資本	36,874	42,162	5,287
無形固定資産	387	361	△26	その他の 包括利益累計額	5,195	3,865	△1,329
投資その他の資産	13,597	10,894	△2,702	非支配株主持分	△484	△544	△60
資産合計	127,429	150,833	23,404	純資産合計	41,585	45,482	3,897
				負債及び純資産合計	127,429	150,833	23,404

- ・水産物相場が短期間で急上昇する中で、戦略的に在庫保持したことで在庫高が増加し、「商品及び製品」、「短期借入金（含むCP）」が増加。

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

		第2四半期連結累計期間		
		2022年3月期	2023年3月期	前年同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前当期純利益	3,419	6,072	2,652
	減価償却費	911	993	82
	売上債権の増減 (△は増加)	1,042	△7,797	△8,839
	棚卸資産の増減 (△は増加)	△9,643	△13,150	△3,506
	仕入債務の増減 (△は減少)	3,432	646	△2,786
	その他	△811	△1,625	△813
	小計	△1,649	△14,859	△13,210
投資活動による キャッシュ・フロー	固定資産の取得	△3,217	△1,677	1,540
	その他	△47	△129	△82
	小計	△3,265	△1,806	1,458
財務活動による キャッシュ・フロー	短期借入金 (含むCP)の増減 (△は減少)	3,913	17,989	14,075
	長期借入れの増減 (△は減少)	1,619	△978	△2,598
	その他	△950	△1,191	△240
	小計	4,583	15,820	11,236

・売上高の増加に伴い、「売上債権」が大幅に増加

第2四半期連結財務指標の推移(累計期間)

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	前年同期比
自己資本 (百万円)	29,969	31,696	35,035	42,070	46,027	3,957
有利子負債 (百万円)	64,914	64,578	55,693	56,798	75,748	18,949
総資産 (百万円)	121,834	119,707	115,610	127,429	150,833	23,404
現金及び現金同等物の 期末残高 (百万円)	6,530	4,197	5,793	6,790	5,880	△910
自己資本比率	24.6%	26.5%	30.3%	33.0%	30.5%	△2.5ポイント
D/Eレシオ	2.2倍	2.1倍	1.7倍	1.5倍	1.8倍	+0.3ポイント

- ・利益剰余金の増加により自己資本が増加したものの有利子負債（短期借入金）の大幅な増加により、自己資本比率は低下。

戦略

事業課題への継続的取組み

事業を取り巻く環境

食品事業・海外事業の拡大

▶ベトナムにKyokuyo Vina Foods Co., Ltd.設立【7月】

食品製造を目的とした、キョクヨーグループ初となるベトナムの子会社。

コロナ禍で
カントリーリスク発生
(リスクの分散)

養殖事業の収益安定化・資源アクセスの強化

▶カツオを漁獲する海外まき網船「第十一わかば丸」初出港【8月】

水産資源の持続性に配慮した、国際競争力を有する大型船。

総トン数：760トン 投資総額：約32億円



第十一わかば丸

水産資源の持続性の
意識の高まり

国際的な競争激化

▶(株)イービス藻類産業研究所へ出資【8月】

同社が培養・販売する微細藻類「ナンノクロロプシス」を
養殖魚の飼料、高栄養食品へ活用



イービス藻類産業研究所の培養施設

世界的人口増加による
栄養不足への懸念

海外展開

戦略 海外事業の拡大

成長性が期待される海外マーケットでの販売強化

戦略 事業基盤の強化

積極的な新規投資

海外拠点一覧

Kyokuyo Europe B.V.
(オランダ)

冷凍食品の欧州向け販売及び輸出

アムステルダム
駐在員事務所

青島極洋貿易有限公司
(中国)

中国国内向け販売及び輸出

青島
駐在員事務所

Kyokuyo America Corporation
(米国・シアトル)

水産物の買付販売・日本向け輸出

ニューヨーク営業所

ロサンゼルス営業所

KYOKUYO GLOBAL SEAFOODS Co.,Ltd.
(タイ)

設立：2019年4月

寿司種、煮魚・焼魚等の製造・販売及び輸出を行う海外基幹工場

煮魚・焼魚工場 2020年3月稼働
生食工場 2022年2月稼働



Kyokuyo Vina Foods Co.,Ltd. (ベトナム)

設立：2022年7月

食品の製造・販売及び輸出

ホーチミン
駐在員事務所

バンコク
駐在員事務所

スラバヤ
駐在員事務所

● …駐在員事務所

○ …現地法人

海外売上高

2024年3月期目標値 300 億円

2023年3月期第2四半期 107 億円

セグメントの状況

セグメント別売上高・利益

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益		
	第2四半期連結累計期間			第2四半期連結累計期間		
	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比
水産 商事	57,848	60,586	2,737	2,574	3,217	642
食品	46,471	52,298	5,826	620	464	△155
鯉・鮪	15,808	19,878	4,069	464	2,205	1,741
物流 サービス	552	642	89	95	89	△6
その他	198	213	15	△532	△601	△69
合 計	120,880	133,619	12,739	3,222	5,375	2,152

▶ 水産商事

《増収増益》

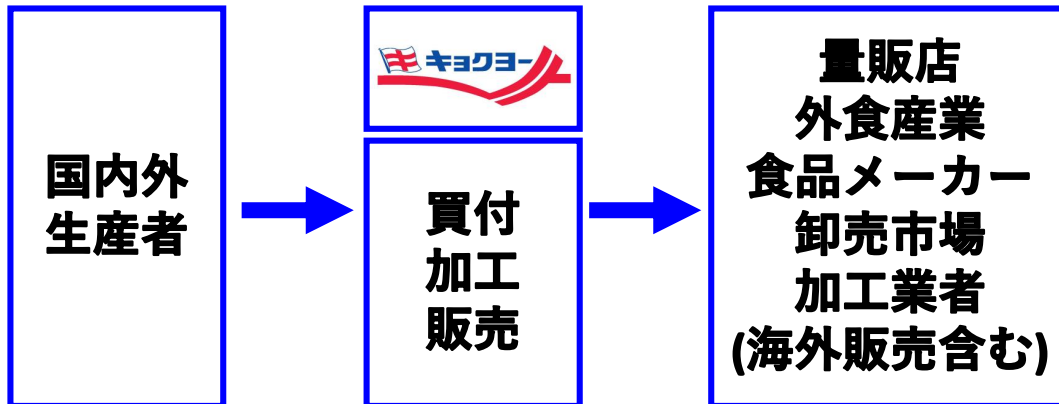
(国内販売)

- 水産相場の高値で消費鈍化、全体販売数量は減少
- 業務筋回復と先高観による販売単価上昇で売上拡大
- サケ、エビの原料・加工品や魚卵の販売好調

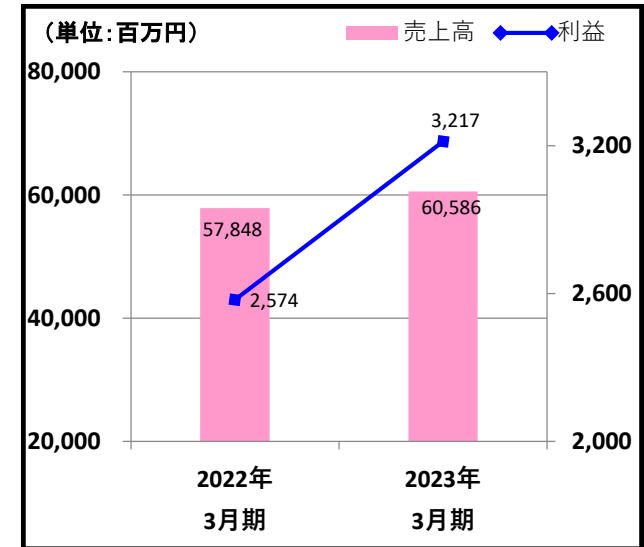
(海外事業)

- 円安の影響もあり、ホタテや北洋魚の輸出、北米でのエビ販売が伸長

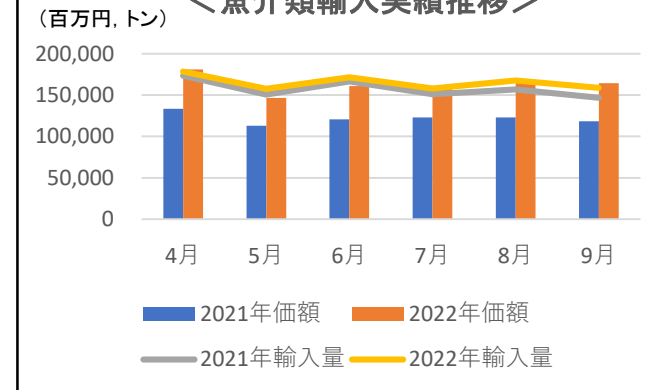
※参考資料P.22「魚種別売上重量・単価推移」を記載しております。



第2四半期連結累計期間



＜魚介類輸入実績推移＞



出典：財務省貿易統計 ※2022年9月分は速報値
 (報道発表資料：財務省貿易統計 Trade Statistics of Japan (customs.go.jp))を加工して作成

➤ 食品

《増収減益》

(業務用冷凍食品)

- 回転寿司ルートで寿司種の販売順調
- 外食・給食ルートの回復もあり、水産フライやエビフリッターが伸長
- 収益面では、値上げ実施もコストの高騰続き、カバーできず

(市販用冷凍食品)

- 煮魚・焼き魚中心に販売拡大

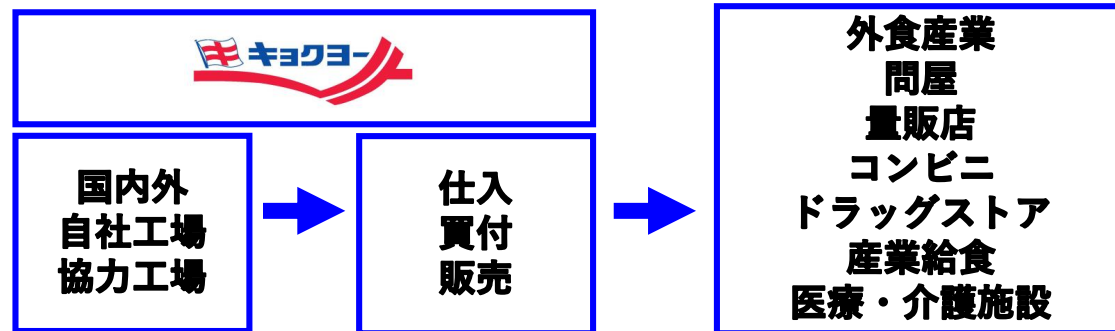
(缶詰)

- コスト上昇が収益圧迫も、市場全体で価格改定進む中、新規開拓でサバ缶・イワシ缶を主体に売上伸長

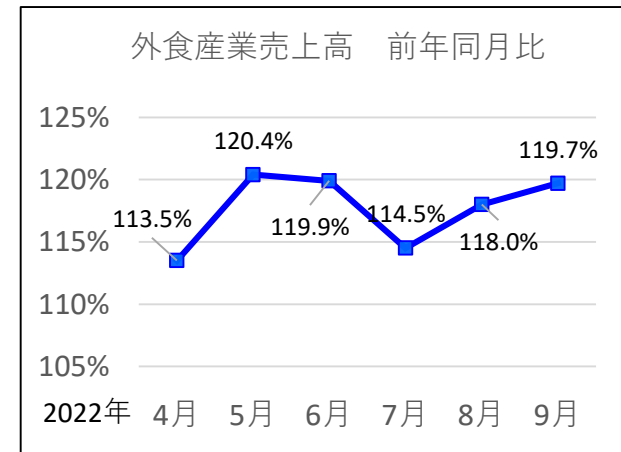
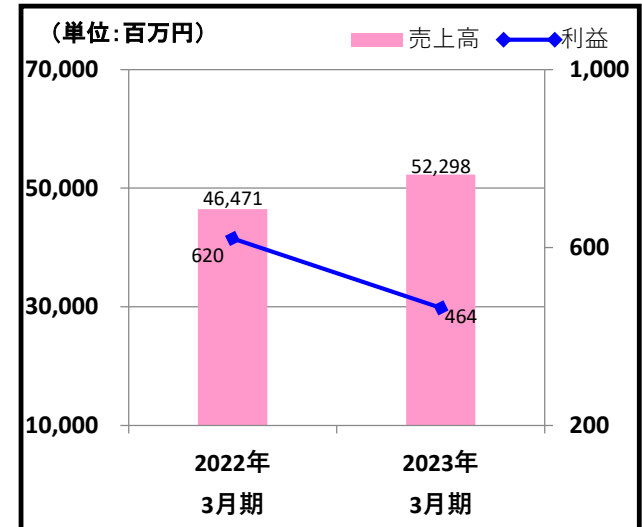
(おつまみ・珍味)

- 消費者の志向に変化、販売数量が落ち込み

※参考資料P.23「食品事業の売上高内訳」を記載しております。



第2四半期連結累計期間



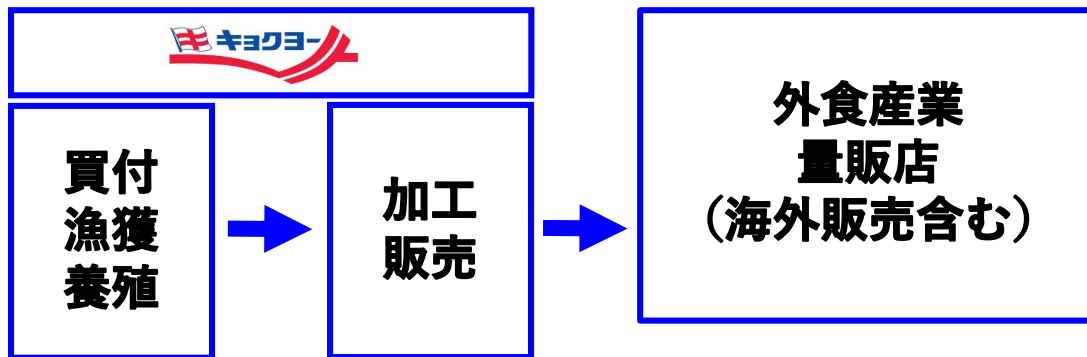
出典：外食産業市場動向調査
協会会員全店売上高
(一般社団法人日本フードサービス協会)

➤ 鰹・鮪

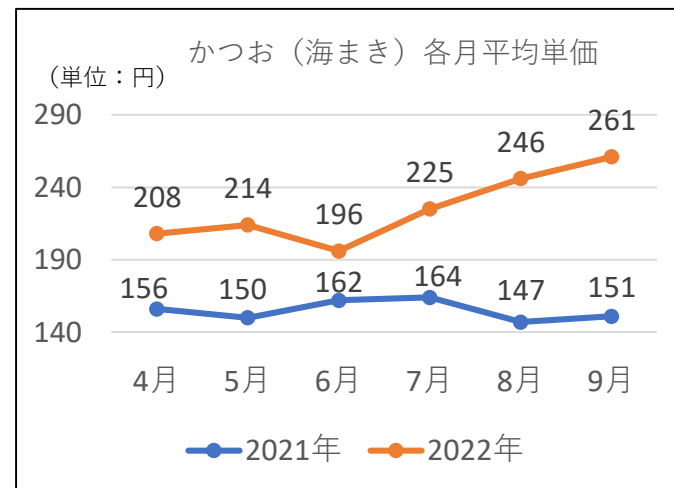
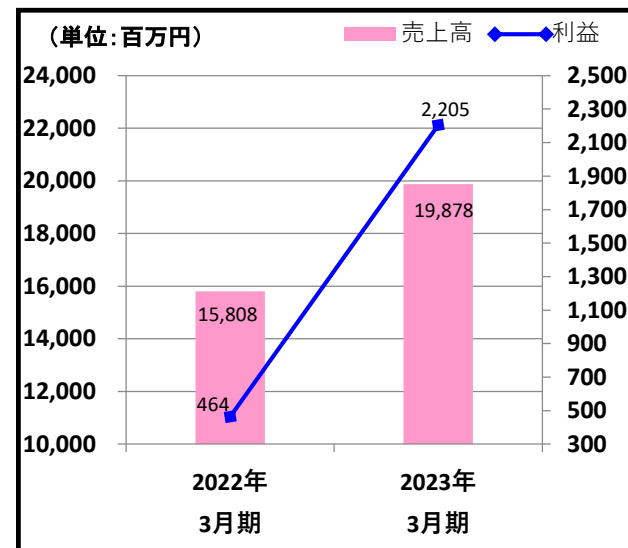
《增收増益》

- 原料相場上昇が続き価格改定実施も、外食ルートの回復で需要が力強かった
- 刺身用トロ商材として輸入冷凍クロマグロ、インドマグロの販売増加、キハダマグロなどの赤身も販売順調
- マグロタタキ含む加工品が回転寿司ルート向け中心に伸長
(養殖事業)
 - 国産クロマグロの品質維持に努めた安定供給で収益確保
- (海外まき網事業)
 - カツオ魚価上昇により収支が改善

※参考資料P.24～25「海外まき網事業 水揚げ重量・魚価」および「クロマグロ養殖事業 売上重量・金額」を記載しております。



第2四半期連結累計期間



出典：焼津魚市場取扱高対比表（税抜）
(焼津漁業協同組合)

物流サービス

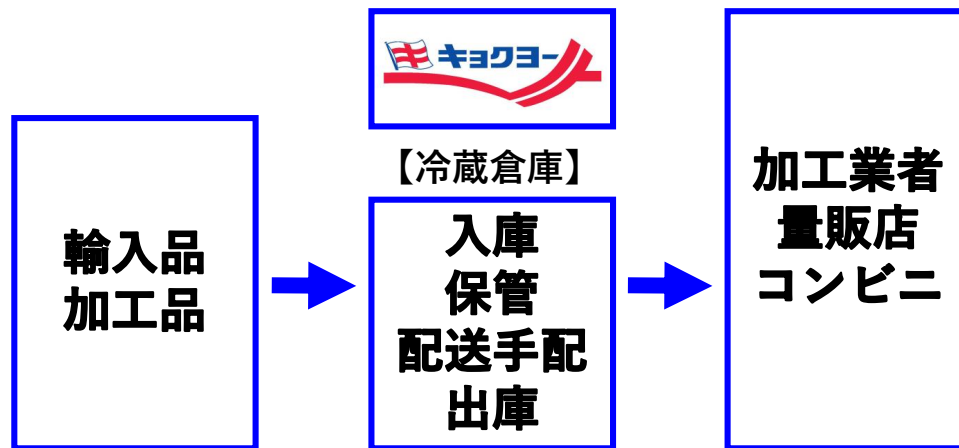
《増収減益》

(冷蔵倉庫事業)

- 入庫数量増加で、庫腹率が高い状態続くも、電気料金の上昇が収益を圧迫

(利用運送事業)

- 外部取引先との取引拡大で売上伸長

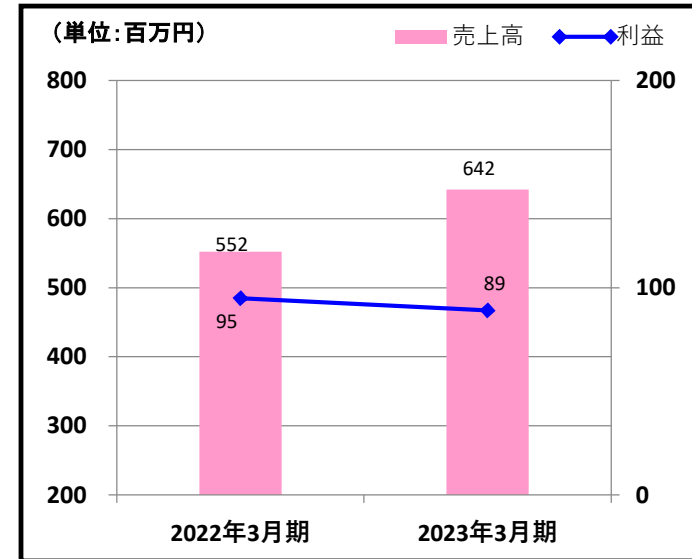


冷蔵倉庫事業



利用運送事業
(イメージ)

第2四半期連結累計期間



Ⅱ .2023年3月期下半期の 施策・業績予想

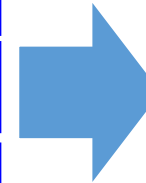
➤ 水産商事

< 施策 >

精度の高い需給予測に基づいた在庫管理の徹底

回復基調の業務・外食ルートへの取組み強化

極洋製品の輸出拡大



< 中計戦略 >

水産商事及び養殖事業
の収益安定化

海外事業の拡大

➤ 食品

< 施策 >

自社工場製品の拡販による収益性向上

アイテム集約による工場の生産性向上

市場ニーズに合った商品投入のスピード向上



< 中計戦略 >

食品事業の拡大

商品開発・ブランドの
強化

食の楽しみへの
こだわり

➤ 鯉・鮪

< 施策 >

精度の高い需給予測に基づいた在庫管理の徹底

自社工場の生産効率向上による収益性向上



< 中計戦略 >

水産商事及び養殖事業
の収益安定化

➤ 物流サービス

< 施策 >

在庫量確保による売上の拡大

大幅なコスト上昇に対応した価格改定



< 中計戦略 >

財務基盤の強化

設備投資実績・計画

	概要	2023年3月期 9月末実績	2023年3月期 計画
極 洋	生産工場関連	1億円	3億円
	研究所関連	0億円	1億円
	養殖事業海上 IT関連その他	1億円 1億円	1億円 7億円
	計	3億円	12億円
関係 会社	生産工場関連	6億円	15億円
	まき網事業関連	7億円	9億円
	養殖事業海上	0億円	1億円
	IT関連その他	0億円	1億円
	計	14億円	26億円
合計		17億円	38億円

主な投資案件

DX推進
グループ内横断的システム導入

2022年2月に稼働開始した
KYOKUYO GLOBAL SEAFOODS Co., Ltd. (タイ)
の生産機械等

2022年8月に初出港した
海外まき網船「第十一わかば丸」関連

連結業績予想と中計目標値

	連結業績予想 2023年3月期 (中計2年目)	中計最終年度目標値 2024年3月期 (中計3年目)
売上高	2,750億円	3,000億円
営業利益	70億円	70億円
経常利益	70億円	65億円
営業利益率	2.5%	2%超
経常利益率	2.5%	2%超

Ⅲ.株主還元

配当予想に変更はありません

利益配分に関する 基本方針

株主に対する適切な利益還元を経営の重要な課題のひとつと位置付けており、企業体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を図るとともに、安定配当を継続しつつも、中長期的な利益成長による配当水準の向上を目指します。

優待品

■ 対象株主及び優待の内容

(1) 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上3単元（300株）未満所有の株主様には、2,500円相当の当社製品を贈呈

(2) 毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された3単元（300株）以上所有の株主様には、6,000円相当の当社製品を贈呈

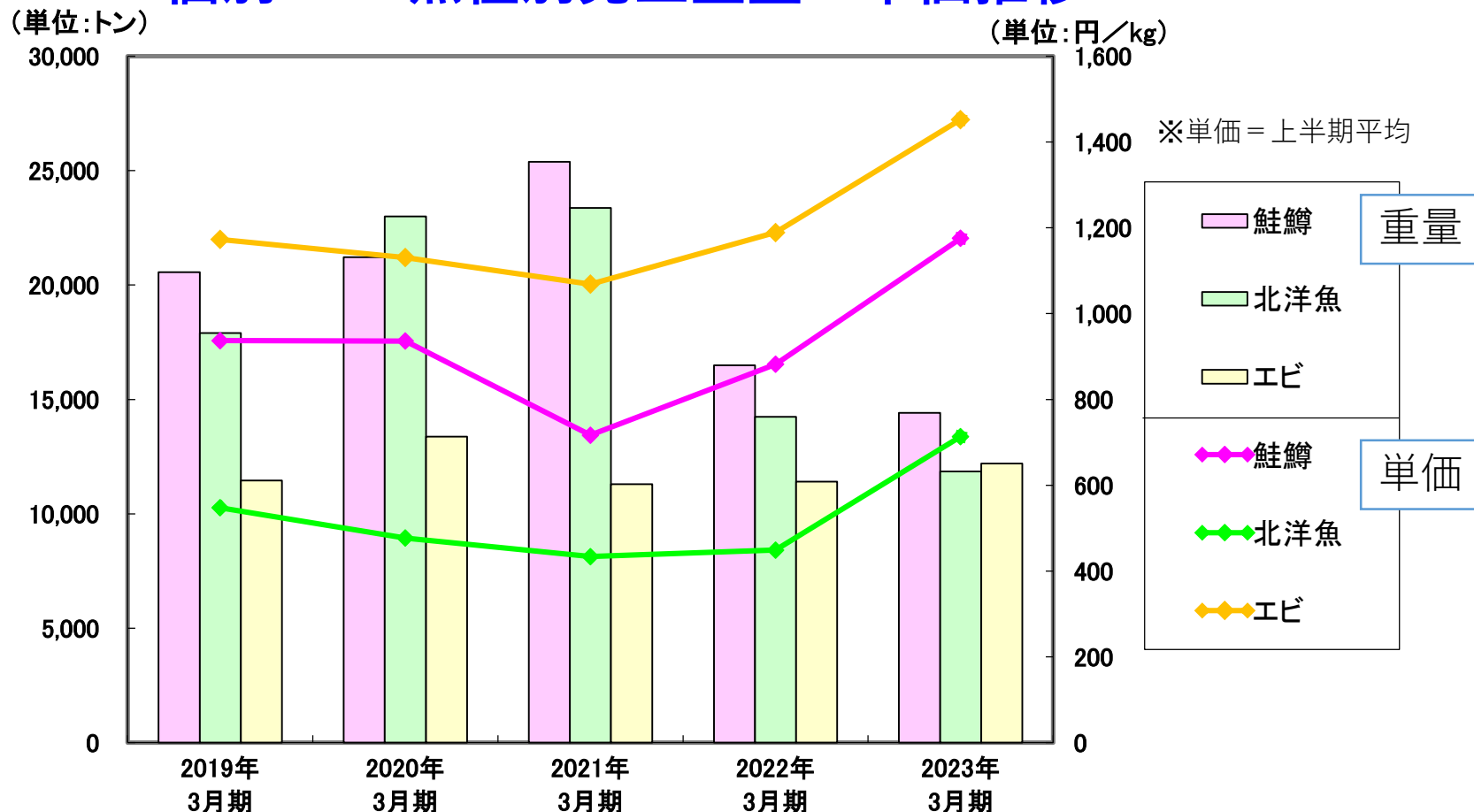
■ 贈呈時期 : 毎年7月予定

配当の状況

	1株当たりの 配当金
2018年3月期	60円
2019年3月期	70円
2020年3月期	70円
2021年3月期	80円
2022年3月期	90円
2023年3月期 予想	90円

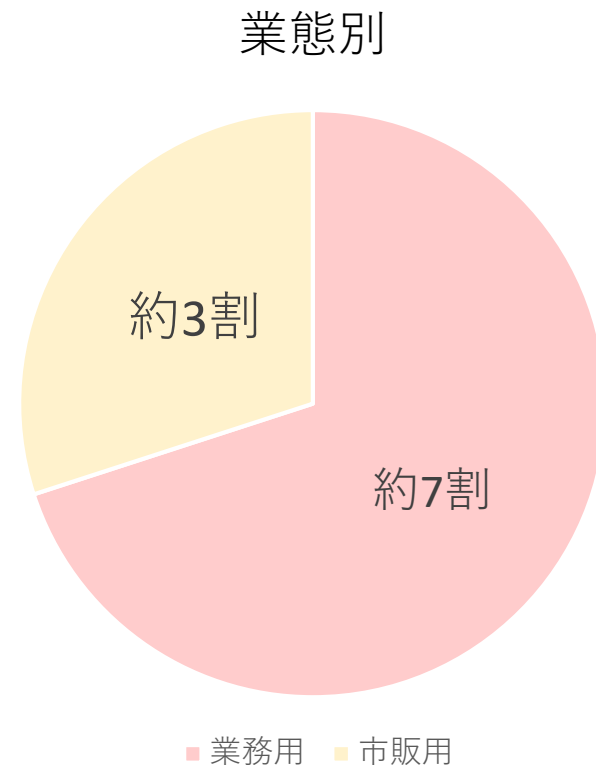
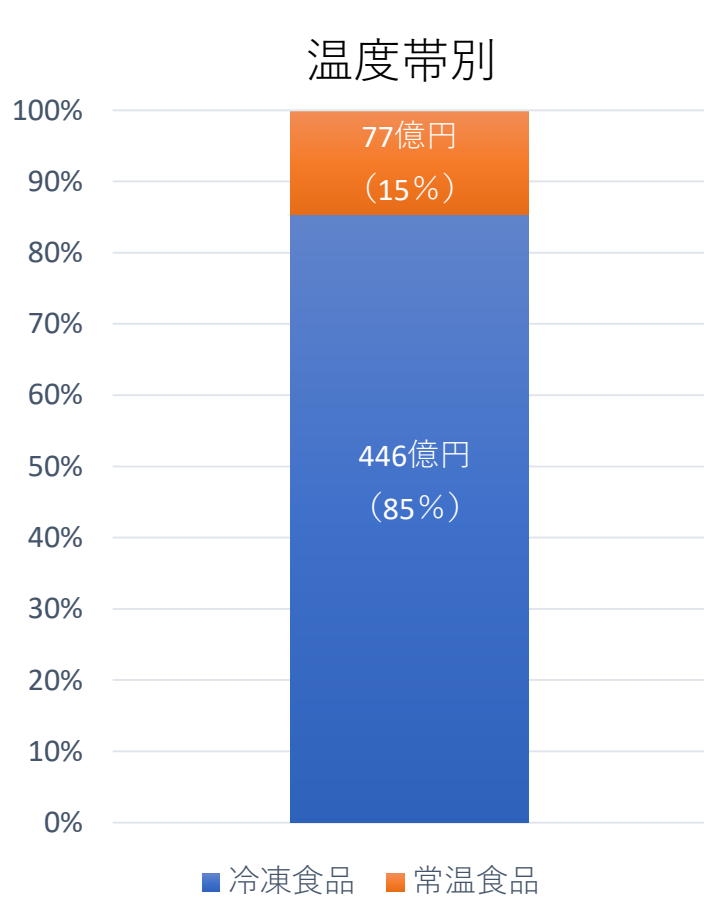
ご参考資料

水産商事（上半期） ＜個別＞ 魚種別売上重量・単価推移

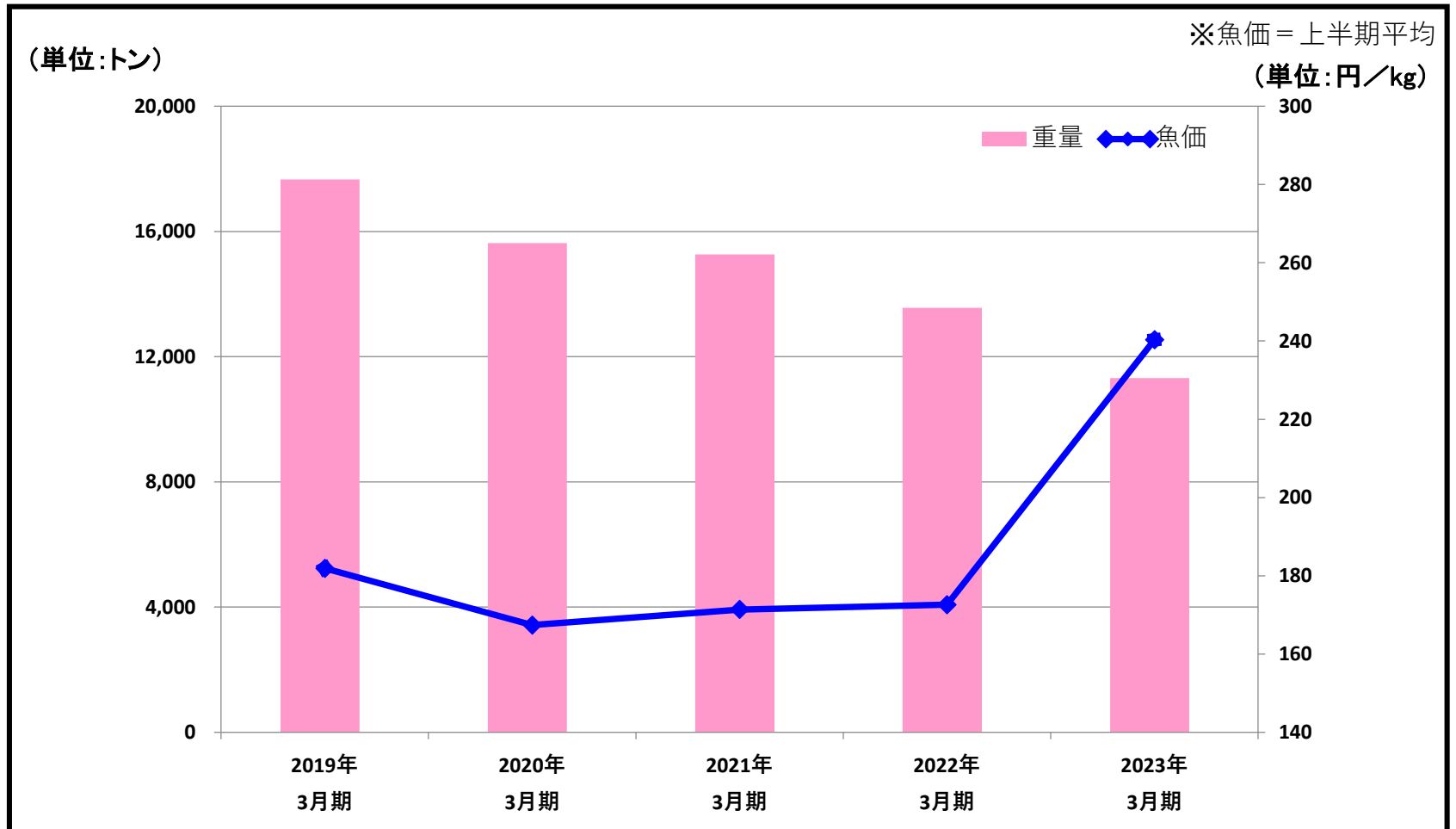


※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を2022年3月期の期首から適用しています。これにより、有償支給取引については、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。2022年3月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

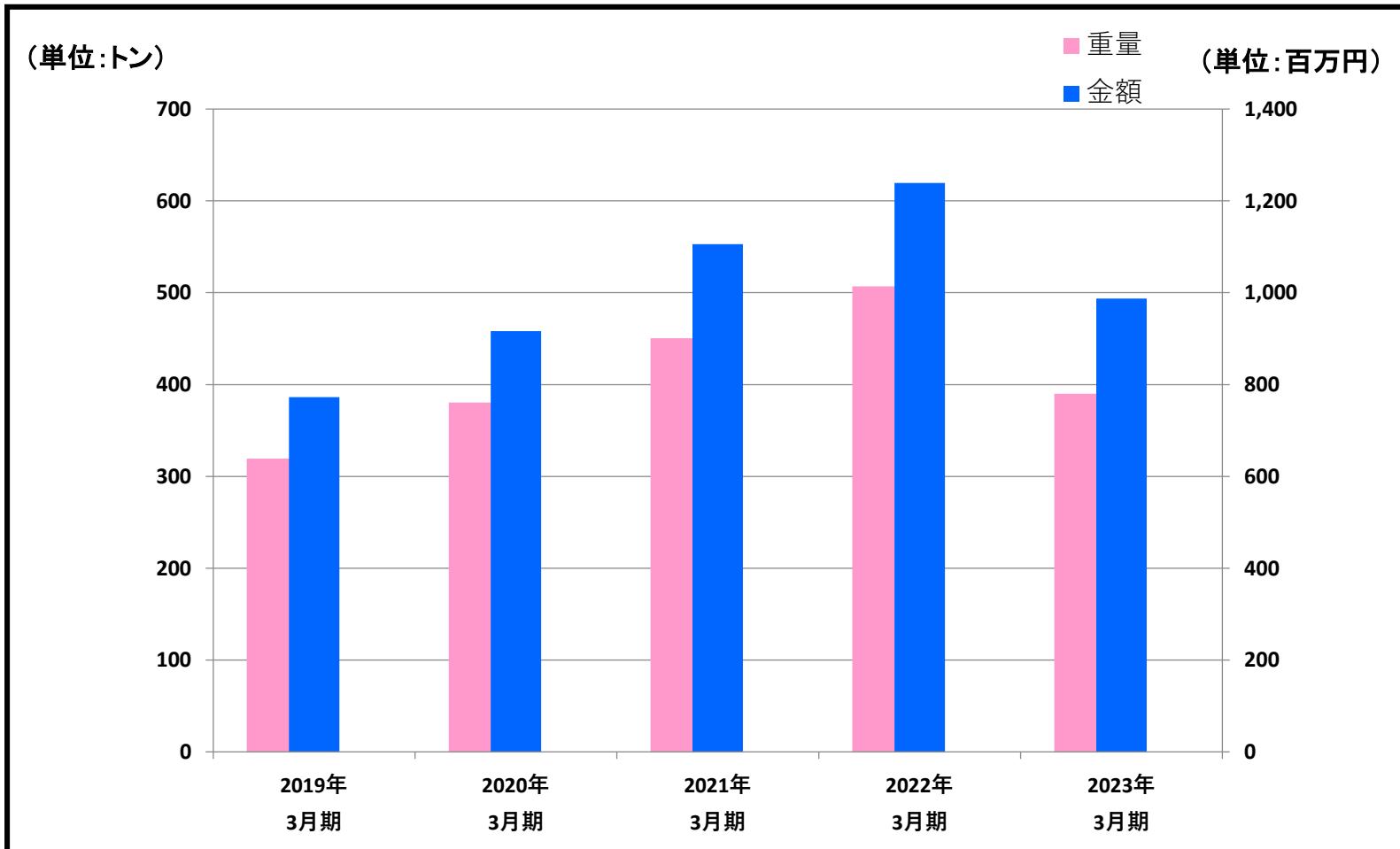
食品事業（上半期）売上高（52,298百万円）内訳



鯉・鮪セグメント (上半期) 海外まき網事業 水揚げ重量・魚価



鰹・鮪セグメント（上半期） クロマグロ養殖事業 売上重量・金額



ESGトピックス

➤ ESG投資指数の構成銘柄「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」に選定

ロンドン証券取引所グループ企業・FTSE Russell社が提供する、ESGの対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映する指数

➤ 日本カヌー連盟への協賛

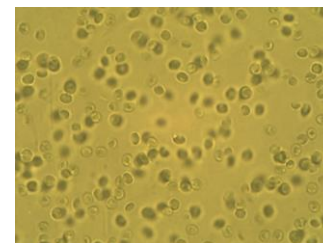
「自然との共生」および「水資源の大切さ」を社会に訴える環境保全活動の一環として日本代表選手や日本カヌー連盟の活動を応援、サポート。また、競技場へ来場された方々にご参加いただき競技コース付近の清掃活動「クリーンリバー活動」を実施。



➤ 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同【5月】

➤ (株)イービス藻類産業研究所へ出資【8月】

同社が培養する「ナンノクロロプシス」は、微細藻類の一種で、太陽光と水とCO₂による光合成により、たんぱく質や脂質を生成。その光合成によりCO₂を吸収するなど、生産過程が低環境負荷。



微細藻類「ナンノクロロプシス」

➤ カツオ漁獲の海外まき網船「第十一わかば丸」初出港【8月】

水産資源の持続性に配慮し、持続的かつ安定的な原料調達を実現。船首形状の改良などにより燃油消費量の削減を図るなど、環境に配慮。船の大型化や設計の工夫などにより、船員の労働・住居環境を改善。



第十一わかば丸

➤ SeaBOSキーストーン・ダイアログに出席【10月】

世界の水産大手企業10社と科学者が持続可能な水産資源の活用・健全な海洋および地球環境の実現に向け、課題抽出・目標設定を行うSeaBOS会議に井上社長が出席

➤ 第2四半期連結業績推移（累計期間）

単位：百万円

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	119,202	126,884	116,861	120,880	133,619
売上原価	108,196	115,283	105,036	106,951	116,774
売上総利益	11,066	11,600	11,825	13,929	16,844
販売費および 一般管理費	9,933	10,865	10,445	10,706	11,469
営業利益	1,072	735	1,379	3,222	5,375
経常利益	1,332	1,128	1,505	3,428	5,805
特別利益	4	0	1,465	39	302
特別損失	208	38	730	48	35
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	824	710	1,577	2,438	4,208

➤ 第2四半期連結財務指標の推移（累計期間）

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
純資産(百万円)	30,253	31,762	34,480	41,585	45,482
有利子負債 (百万円)	64,914	64,578	55,693	56,798	75,748
在庫回転日数	53.4日	52.6日	50.9日	53.3日	66.8日
自己資本比率	24.6%	26.5%	30.3%	33.0%	30.5%
ROE	2.8%	2.2%	4.7%	5.9%	9.5%
ROA	1.2%	1.0%	1.3%	2.8%	4.1%
1株当たり 純資産(円)	2,769.99円	2,929.72円	3,256.78円	3,910.65円	4,294.96円
1株当たり 四半期純利益 (円)	76.33円	65.66円	146.78円	226.63円	391.96円

- ROE：「親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本*」
- ROA：「経常利益÷総資産*」
- 在庫回転日数：「商製品在庫高*÷売上高×365」
- 自己資本比率：「自己資本÷総資産」

*当四半期と前期末の平均値としている。

見通しに関する注意事項

本資料は、2022年9月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としております。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因によりこれらの予想と異なることがありますのでご了承ください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極洋 経営管理部IR室 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。